

観光ビジネス学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	46・47	ホテル・ブライダルサービス
1年	60・61	旅程管理
1年	72・73	観光インターンシップ
1年	76・77	基礎キャリア形成ゼミ
1年	82・83	観光研修Ⅰ
2年	118・119	ホテル経営
2年	120・121	ウェディングブライダル演習
2年	144・145	観光研修Ⅱ

科目ナンバリング

TB-3-ECO-05

学修成果	1	2	3	4	5						
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力						
		●	●								
科目名	ホテル・ブライダルサービス				単位認定者	小里 千寿 小野寺 理恵		※詳細は「備考」欄を参照すること。			
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法			
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間				
						授業回数	15 回				
授業の概要	2010年代に入って急増しているインバウンド需要の主要な受け手として現在急拡大を続けているホテル業界について、本講義では特に「おもてなし」の精神を実際の行動として体現するサービス業務について学ぶ。具体的にはホテルビジネスおよびブライダルビジネスにおけるサービスについて、必要とされるマインドとスキルを講義しつつ、ロールプレイなど演習的な要素も入れながら理解を深める。										
到達目標	実際にホテルの現場第一線で豊富な経験を積んだプロフェッショナルによるホテリエに必要な知識と技術を学修する。様々な部門に分かれるホテルサービスを授業を通して体験することで、より具体的にホテルサービスを理解できるようにする。										
学修者への期待等	限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切に、講義内容の復習を積極的に行ってほしい。今後の日本の観光産業を見据え、東北に訪れた観光客に対するホテル・ブライダルサービスを自ら主体的に学ぶ姿勢を期待する。										
回	授業計画				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員		
1	ガイダンス：ホテルサービスの概要				事前学修：ホテルサービスについて調べておく 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		
2	ホテル・サービス：宴会サービスについて				事前学修：宴会場での仕事について調べておく 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		
3	ブライダル部門について				事前学修：ブライダル部門について調べておく 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		
4	ホテルサービス：レストランサービスについて				事前学修：レストランの仕事について調べておく 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		
5	～プロフェッショナル講義～ ①ソムリエ ②SAKE DIPLOMA				事前学修：ソムリエ・SAKE DIPLOMAについて調べておく 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		
6	～プロフェッショナル講義～ 日本料理テーブルマナープラン				事前学修：日本料理のテーブルマナーについて調べておく 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		
7	宿泊部門について				事前学修：宿泊部門について調べておく 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		
8	インバウンド概論				事前学修：日本のインバウンド観光について調べておく 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		
9	グループディスカッション 「お客様の期待を超えるサービスとは」				事前学修：これまでの内容を復習 事後学修：内容の復習		30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ		

回	授業計画	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
10	プレゼンテーション, レポート課題説明	事前学修: 内容を復習し, プレゼンテーションに向けた準備 事後学修: 内容復習, レポート課題	30	30	小里 千寿 ホテルメトロポリタン仙台 スタッフ
11	授業の進め方・評価の仕方・Bコーディネーターの身だしなみ・名刺交換・ペンの渡し方 (ペアワーク)	事前学修: ウェディングプランナーについて各自あらかじめ調べておくこと。 事後学修: 実技の復習	30	30	小野寺 理恵
12	プリント (WBJ)	事前学修: 前回までの授業内容を復習しておくこと。 事後学修: プリント復習	30	30	小野寺 理恵
13	実技テストの解説 (名刺渡し&スケジュール説明)と練習	事前学修: 前回までの授業内容を復習しておくこと。 事後学修: 実技の復習	30	30	小野寺 理恵
14	模擬挙式体験 (ゲストとして参加) ※ホテル開催 (2年: 「ウェディングブライダル演習」第14回と合同)	事前学修: 人前式について調べる 事後学修: 模擬挙式に参加した感想文作成	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
15	模擬挙式に参加した感想文提出&実技テスト	事前学修: 前回までの授業内容を復習しておくこと。 事後学修: 今までの復習	30	30	小野寺 理恵
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり: キーワード (グループディスカッション, プレゼンテーション, ペアワーク, 実技)				
教科書	「ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード」公益社団法人日本ブライダル文化振興協会				
参考文献	「ホテルビジネス基礎編」一般財団法人日本ホテル教育センター 「新ホテル総論」一般財団法人日本ホテル教育センター 「ブライダル総論」一般財団法人日本ホテル教育センター 「ブライダルプロデュース」一般財団法人日本ホテル教育センター				
備考	状況により順番や進度, 内容に変更が生じる場合や, 遠隔授業で実施する場合がある。第1回～第10回授業までは, 小里千寿と現役ホテリエ (ホテルメトロポリタン仙台スタッフ) が担当する。第11回～第15回はブライダルコーディネーター (小野寺理恵) が担当する。 <評価の方法> 小里 千寿: 第1回～10回, 第14回 - 授業内課題: 70%, 受講態度30% 小野寺 理恵: 第11回～15回 - 授業内実技試験: 80%, 受講態度: 20%				

#### 実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

(ホテルメトロポリタン仙台スタッフ) 現役のホテリエと各実務家の具体例のある講義やロールプレイを通じて, ホテリエに求められているマインドやスキル, サービスについての授業を行うことができる。

(小野寺 理恵) ブライダルコーディネーター, 美容師, アテンド, 司会者として34年の実務経験を有する。携わってきた業務の経験を活かし, 具体的事例を交え説明する。(ウェディングプランナー・ドレスコーディネーター・美容師国家資格を有する)

<b>科目ナンバリング</b>
TB-3-ECO-17

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
		●			●

科目名	旅程管理				単位認定者	小畑 隆		評価の方法	授業内課題 (レポート)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	通年	単位数	2 単位		受講態度	20 %
						授業形態	講義		授業時間数	30 時間
				授業回数	15 回					

**授業の概要**  
 本科目では旅程管理者（ツアーコンダクター）の業務について座学と実習により理解を深める。旅程管理は旅行商品の最終段階として捉えられ、旅程管理者のみならず消費者（旅行者）にとっても非常に重要である。具体的には国内旅行に関する旅程管理業務の概説、および当該業務の実施に関して必要不可欠な各種サービス提供契約と関係法令等についての概説、さらには実際の添乗実習などを中心に行い、当該業務への理解を深め、円滑にツアーを実施できる能力を養う。

**到達目標**  
 旅程管理者（ツアーコンダクター）の業務について理解を深め円滑なツアーを実施できるようにする。国内旅程管理主任者の公的資格を取得するために必要なレベルの知識を身につけることができる。

**学修者への期待等**  
 限られた講義時間の中で全員の国内旅程管理者（公的資格）の修了を目指す。集中して受講してほしい。修了した者には、添乗実習を実施する。

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	日本の旅行業界の現状と将来性	事前学修：旅行業法についての概要の下調べをする。 事後学修：旅行業法についての概要の深掘りをする	30	30
2	旅行業法（概要，総則他）			
3	旅行業法（旅行業等）			
4	標準旅行業約款（約款とは）			
5	標準旅行業約款（総則他）	事前学修：旅行業約款についての概要の下調べをする。 事後学修：旅行業約款についての概要の深掘りをする	30	30
6	標準旅行業約款（契約，旅程管理，責任他）			
7	標準旅行業約款（旅程保証他）			
8	関係機関約款（国内旅客運送，一般貸切旅客自動車運送，フェリー標準運送，モデル宿泊）			
9	国内旅行実務について	事前学修：国内旅行実務及び添乗員実務についての下調べをする。 事後学修：国内旅行実務及び添乗員実務についての深掘りをする	30	30
10	添乗員の役割と心構え（添乗員とは，添乗員の役割，添乗員の基本的要件）			
11	添乗員実務（各種書式等）			
12	添乗員実務（日帰りバスツアー，航空機利用ツアー）			
13	添乗員実務（JR利用ツアー，宿泊）	事前学修：旅行関係機関についての下調べをする。 事後学修：旅行関係機関についての深掘りをする	30	30
14	関係機関の基礎知識			
15	観光地理，確認修了テスト（法令約款・旅行実務）			
<b>アクティブ・ラーニング</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ）			

<b>教科書</b>	無し
<b>参考文献</b>	必要に応じて指示する。
<b>備考</b>	本科目は4日間の集中講義である。旅行業法と旅行業約款および旅行実務の講義最終日に修了テストを実施する。受験諸費用・修了証書・実習費用が、別途必要となる。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

現在添乗員派遣会社（エコーインターナショナル社）仙台支店長。12年の国内外の添乗員を経験と、20年にわたり旅程管理の講師を経験している。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-30				
		●	●							
科目名	観光インターンシップ				単位認定者	小里 千寿 佐藤 美輪 鎌田 貢治		受講態度	30 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の方法	報告書	25 %
						授業時間数	45 時間		受入先の評価	25 %
				授業形態	実習	授業回数	集中		発表	20 %
授業の概要	旅行・ホテル・航空・ブライダルなど、観光ビジネスに関する機関において、おおむね1週間の基本的実務に関する実習を行う。 それぞれの機関における特徴を理解し、観光ビジネスに関する業務を行うために必要な知識と実務能力を身につける。									
到達目標										
学修者への期待等	①インターンシップ科目の履修方法は通常の科目とは違うので注意すること。 ②自ら積極的に情報を収集し、インターンシップ先を開拓する努力をすること。 ③インターンシップ先では、勤務時間などの諸規則をしっかりと守り、青葉生として恥ずかしくない振る舞いをする。									
授業計画					準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1. 実習期間 受入先企業により異なる。 2. 実習計画 (1) 事前研修(集中講義) 第1回 インターンシップの概要と目的、成績評価の方法 (ゲストスピーカー) 第2回 インターンシップ心得について 第3回 インターンシップエントリーシート作成方法について 第4回 インターンシップの身だしなみ・準備について (2) 事後研修(集中講義) 第5回 インターンシップ報告会 第6回 インターンシップのまとめ (3) インターンシップ(職場実習) 原則として、以下の全てを満たすことを条件とする。 ①実習時間数が概ね「35時間以上」であること。 ②当該年度内に実施されるインターンシップであること ③インターンシップ先から以下の評価協力について承諾を得られること ・「インターンシップ活動報告書」にサインまたは押印 ・「インターンシップ評価表」にインターンシップ中の評価を記入 (注1) 以上の書類は実習前に学生および受入先企業に配布 (注2) 海外のインターンシップ先を個人で開拓した場合は、日本語で上記書類を作成してもらうこと (注3) 旅行会社の海外インターンシップツアーを利用した場合は、旅行会社指定の書類や成果物を提出すること ④「学生教育研究災害傷害保険」に加入していること (4) 「インターンシップ活動報告書」および「インターンシップ評価表」の提出 (5) インターンシップ報告会での発表 3. 実習目標 就職活動前にインターンシップを経験することで、組織活動の仕組みを知り、社会人としての責任を自覚し、観光ビジネス業界で働くことの意義について考え、進路選択の幅を広げることができるようになる。					事前学修： ①インターンシップ先の機関について会社概要等を確認し、実習先までの交通手段や所要時間等も調べておく。 ②実習までに、就職活動でも使用できる程度のエントリーシートを完成させる。  事後学修：インターンシップ活動報告会に向けて実習で得た学びをスライドにまとめ、報告できるよう完成させる。			90	90	

授業計画		準備学修		事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
<p><b>【注意事項】</b></p> <p>①「事前研修」や「事後研修」の日程については、後日連絡する。</p> <p>②「事前研修」と「事後研修」で20%を超えて欠席した場合、単位認定は行わない。</p> <p>③インターンシップ中に個人的な事由により欠勤し実習時間が35時間に満たなかった場合、単位認定を行わない。 (忌引き等やむを得ない事情については、担当教員が本学の公認欠席規程に準じて判断する)</p> <p>④その他、受入先が実習継続困難と判断し、中止に至った場合、単位認定を行わない。</p> <p>⑤企業から直接本学にインターンシップ受入の案内があった場合は掲示等で連絡するが、年度により、職種や受入人数にばらつきがあるので、早めに自己開拓の努力をすること。</p> <p>⑥他科目の集中講座の日程と実施時期が重なることもあるので、インターンシップ先を選ぶ際には注意すること。</p>		<p>事前学修：</p> <p>①インターンシップ先の機関について会社概要等を確認し、実習先までの交通手段や所要時間等も調べておく。</p> <p>②実習までに、就職活動でも使用できる程度のエントリーシートを完成させる。</p> <p>事後学修：インターンシップ活動報告会に向けて実習で得た学びをスライドにまとめ、報告できるよう完成させる。</p>		90	90
<b>教科書</b>	適宜、レジュメを配布する。				
<b>参考文献</b>	必要に応じて指示する。				
<b>備考</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者の理解度により、講義順序や重点の置き方を変更することがある。</li> <li>・授業への疑問等については、次回以降の授業でフィードバックを行う。</li> </ul>				

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

(小里) 大学でのキャリアコンサルタントの実務経験15年の中で、大学独自のインターンシッププログラムを立ち上げた。

(鎌田) 42年間旅行会社に在籍をしていたため、様々な観光業界の方との関係性が深く学生に見合った企業を紹介できる。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-01				
	●	●	●	●	●					
科目名	基礎キャリア形成ゼミ				単位認定者	小里 千寿		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態		演習		授業回数	30 時間
						15 回				
授業の概要	自身のキャリアを形成することの意味を主体的に捉え、これからの社会生活をどのように充実させていくのかを考えられるようにする。また、最近の社会や職業の動向について理解を深め、働く意味について考え、自らの将来をイメージできるようにするなど、職業意識を涵養していく。さらには、自分自身がイメージした将来の姿に到達するために必要な計画をたてられるようにする。									
到達目標	①キャリアとは何かを自分ごととして理解する。 ②変化と多様性の時代におけるキャリア設計について理解する。 ③自分のキャリアプランを実現するためにすべき事柄を導き出すことができる。									
学修者への期待等	充実した大学生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため、グループワークや実践家を招いたフリートークをとおして自分の意見を積極的に発言することを期待します。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	ガイダンス, 授業の進め方, キャリアデザインとは				事前学修: なし 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				0	30
2	キャリアの理論				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
3	働くということ				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
4	企業が求める人物像				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
5	仕事の価値観 (キャリアアンカー) グループワーク				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
6	内的キャリア (エゴグラム) グループワーク				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
7	金融の知識 (成年年齢引き下げ) グループワーク (ゲストスピーカー)				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
8	金融の知識 (生活設計・家計管理) グループワーク (ゲストスピーカー)				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
9	金融リテラシー検定受験対策問題の解説 (ゲストスピーカー)				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
10	金融リテラシー検定受験 (ゲストスピーカー)				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
11	就職サイトへの登録 (ゲストスピーカー)				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
12	インターンシップと採用のプロセス				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
13	コミュニケーションの重要性 (ディスカッション)				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
14	採用の目線を理解する (ディスカッション)				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
15	まとめと振り返り				事前学修: 授業内容の下調べ 事後学修: 授業内容の整理と振り返り				30	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり: キーワード (グループワーク, ディスカッション)									

<b>教科書</b>	必要に応じて適宜配布する。
<b>参考文献</b>	『改訂版キャリア形成1－社会・集団・個人の役割を学ぶ』東海大学現代教養センター編 東海大学キャリア就職センター
<b>備考</b>	状況により順番や進度，内容を変更する場合や，遠隔授業で実施する場合がある。質問等については，次回以降の授業でフィードバックする。

<b>実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)</b>
--

複数の大学にて就職活動に関する相談やエントリーシート（履歴書）添削経験が15年ある。
--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-04				
	●	●								
科目名	観光研修 I				単位認定者	高野 宏輝 小里 千寿 吉野 千乃 佐藤 美輪 鎌田 貢治		試験 (レポート)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
				授業形態	演習	授業時間数	16 時間			
						授業回数	8 回			
授業の概要	「観光研修I」は学年ごと、あるいは学科全体で実施される学外研修、フィールドワーク、観光施設の見学・視察・体験などを通じた学修を行う。それら学外での学修活動だけではなく、学内における事前学修、事後発表を通して観光に対するさらなる知見の獲得を行い、学修を深化させる。特に1年次では「観光」という事象について集団で学び合い、認識を深める「フィールドワーク入門」としての面も持ち、多角的に観光現象について学修を深める。									
到達目標	観光を学ぶ学生として、研修や体験で得た知識を今後の進路選択に活かせるようになる。 事前研修、体験、事後発表という一連の流れの中で、自らの考えを明確に表現できるようになる。									
学修者への期待等	研修や体験は団体行動となることが多いため、1人1人が短大生としての自覚を持って行動してほしい。また、協調性と同時に積極性を持って研修に取り組む姿勢を期待する。									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	
1	学外学修事前学修：仙台国際空港/仙台港				事前学修：観光と交通の関りを調査する。 事後学修：疑問メモをまとめる。			30	30	
2	A班：学外学修：仙台国際空港視察 B班：学外研修：仙台港、多賀城跡視察				【A班】 事前学修：仙台国際空港の概要を調査する。 事後学修：視察メモをまとめる。 【B班】 事前学修：仙台港、多賀城の概要を調査する。 事後学修：視察メモをまとめる。			30	30	
3	B班：学外学修：仙台国際空港視察 A班：学外研修：仙台港、多賀城跡視察				【B班】 事前学修：仙台国際空港の概要を調査する。 事後学修：視察メモをまとめる。 【A班】 事前学修：仙台港、多賀城の概要を調査する。 事後学修：視察メモをまとめる。			30	30	
4	学外学修事後学修：仙台国際空港 (ゲストスピーカー：岡崎 裕介)				事前学修：視察で得た疑問点をまとめる。 事後学修：視察と学修の内容をまとめる。			30	30	
5	学外研修：訪問地の事前調査 (2年：「観光研修Ⅱ」第10回と合同)				事前学修：訪問地の概要を調べる。 事後学修：研修のルートを考える。			30	30	
6	学外研修：東北の観光地視察 (2年：「観光研修Ⅱ」第11回・第12回と合同)				事前学修：調査時のポイントを確認する。			30	60	
7					事後学修：研修の内容をレポートにまとめる。					
8	仙台市の観光施策を学ぶ：グループワーク				事前学修：グループ毎にテーマを決める。 事後学修：ワークの内容を振り返る。			30	30	
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード(学外学修、グループワーク)									
教科書	使用しない。									
参考文献	参考資料は随時配布する。									

<b>備考</b>	第2回、第3回は履修者を2グループに分割し視察を行う。 状況により順番や進度、内容に変更が生じる場合、遠隔授業に変更して実施する場合がある。 履修者の疑問点については、次回以降の授業時にフィードバックを行う。
-----------	--

<b>実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)</b>
--

学修成果	1	2	3	4	5						
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力						
		●			●						
科目名	ホテル経営				単位 認定者	鎌田 貢治		評価の 方法	試験 (レポート)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内 課題等	20 %	
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	受講態度	30 %
							授業回数		15 回		
授業の概要	本科目は現在急拡大しつつあるインバウンド需要、増加傾向の国内需要、加速する外資進出、解禁された民泊など多様化する宿泊業界において、ホテルを中心とする宿泊業の経営の実際についていくつかの事例研究により学ぶとともに、広義の観光活動から見る宿泊業経営のあり方について学ぶ。										
到達目標	宿泊施設の多様な環境、特に立地、ターゲット層、和風と洋風の違い等を理解するとともに、それぞれの環境で取得した最適な経営方法を学ぶことで、現在における観光宿泊施設の特徴を自分の言葉で表現できるようになる。										
学修者への 期待等	ホテル、旅館を中心とする宿泊施設は実に多彩な環境にあり、経営方法も多様です。そうした観光宿泊施設の経営の一端に触れることで観光の世界の奥深さを体験してもらいたいと思います。										
回	授業計画				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員		
1	ガイダンス：講義スケジュール， 宿泊の現状				事前学修：無し 事後学修：ホテルの現 状確認をする		0	30	鎌田 貢治		
2	旅行会社とホテルとの関係について（外部講師）				事前学修：旅行会社と の関係下調べをする 事後学修：関係性の深 掘りをする		30	30	鎌田 貢治 池田 大		
3	事例研究フィールドワーク①：流辺別邸 観山聴月				事前学修：訪問旅館の 下調べをする 事後学修：振返りをす る		30	30	鎌田 貢治 原 華織		
4											
5	事例研究②：秋保温泉 ホテルニュー水戸屋				事前学修：訪問ホテル の下調べをする 事後学修：振返りをす る		30	30	鎌田 貢治 柴田 暁		
6											
7	国の観光政策と宿泊業について（外部講師）				事前学修：国の政策を 下調べする 事後学修：振返りをす る		30	30	鎌田 貢治 長澤 秀博		
8	事例研究フィールドワーク③：泉ロイヤルパークホ テル				事前学修：訪問ホテル の下調べをする 事後学修：振返りをす る		30	30	鎌田 貢治 渡辺 利明		
9											
10	事例研究フィールドワーク④：ホテルベルエア仙台				事前学修：訪問ホテル の下調べする 事後学修：振返りをす る		30	30	鎌田 貢治 畠中 将人		
11											
12	事例研究フィールドワーク①から④までの振返りと 課題点の提示				事前学修：①から④ま での内容の振返りをす る 事後学修：①から④ま での内容の深掘りをす る		30	30	鎌田 貢治		

回	授業計画	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
13	事例研究フィールドワーク⑤：松島小松館	事前学修：訪問ホテル の下調べする 事後学修：振返りをす る	30	30	鎌田 貢治 小松 篤司
14					
15	まとめ：宿泊施設の現状の検証	事前学修：全体内容検 証をする 事後学修：内容総括を する	30	30	鎌田 貢治
<b>アクティブ・ ラーニング</b>	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（フィールドワーク）				
<b>教科書</b>	無し				
<b>参考文献</b>	授業の中で適宜紹介をする。				
<b>備考</b>	授業の進捗状況により講義内容が前後することがあります。				

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

旅行業界に42年在籍，様々な経験に基づいて観光業全般の事例の提示を行います。

科目ナンバリング

TB-3-ECO-35

学修成果	1	2	3	4	5						
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力						
		●	●								
科目名	ウェディングブライダル演習				単位認定者	小里 千寿		評価の方法	授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	通年	単位数	1 単位		受講態度	30 %	
					授業形態	演習	授業時間数				30 時間
							授業回数		15 回		
授業の概要	<p>本科目はブライダル事業の現場において挙式相談から披露宴までの一連の流れを実際にあるいは模擬的に体験・理解し、挙式に関する知識や技術を学ぶことで、ブライダル事業への理解を深めることを目的とする。授業形式は演習とし、受講生が主体的に協働して様々な場面に対応できる力を養う。</p>										
到達目標	<p>模擬挙式を通してブライダル業界への理解と知識を深める。積極的に授業に参加し、チームでコミュニケーションを取りながら課題を解決する力をつける。</p>										
学修者への期待等	<p>限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切に、講義内容の復習や問題演習を積極的に行ってほしい。実際に模擬挙式を行うことによりブライダル業界への知識と理解を深めてほしい。グループワークが基本になるため、円滑なコミュニケーションを心掛けてほしい。</p>										
回	授業計画				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員		
1	授業ガイダンス（ウェディングブライダル演習の授業の進め方、評価の仕方など）				事前学修：なし 事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと		0	30	小里 千寿 小野寺 理恵		
2	ウェディングブライダルの基礎知識（ゲストスピーカー：梅宮 三環子）				事前学修：ウェディングブライダルに関してあらかじめ参考文献等で調べておく 事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと		30	30	小里 千寿 小野寺 理恵		
3	挙式コンセプト・演出内容を決定する（ディスカッション）				事前学修：ディスカッションのための自分の意見をまとめておく 事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと		30	30	小里 千寿 小野寺 理恵		
4	【校外学修】 模擬挙式会場見学，貸衣裳の仮予約				事前学修：挙式会場について事前に下調べをしておく 事後学修：会場見学をもとに必要な準備作業を考える		30	30	小里 千寿 小野寺 理恵		
5	模擬挙式の進行内容を組み立てる（ディスカッション）				事前学修：挙式の進行内容について自分の考えをまとめておく 事後学修：決定した進行内容をまとめておく		30	30	小里 千寿 小野寺 理恵		
6	模擬挙式の役割を考え分担を決定する（ディスカッション）				事前学修：役割分担について自分の考えをまとめておく 事後学修：決定した役割についてやることを整理しておく		30	30	小里 千寿 小野寺 理恵		

回	授業計画	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
7	役割分担ごとのトレーニング・準備作業① 模擬挙式準備グループワーク	事前学修：準備作業のスケジュールを考える 事後学修：進行状況を振り返り必要であれば計画を見直す	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
8	役割分担ごとのトレーニング・準備作業② 模擬挙式準備（小道具）	事前学修：準備作業のスケジュールを考える 事後学修：進行状況を振り返り必要であれば計画を見直す	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
9	全体の進行内容等の見直し （役割ごとの現状報告、全体の進行等を練り直す）	事前学修：全体の進行を考える際にチェックする事項を洗い出しておく 事後学修：練り直した全体の進行を整理しておく	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
10	役割分担ごとのトレーニング・準備作業③ 模擬挙式準備（大道具）	事前学修：準備作業のスケジュールを考える 事後学修：進行状況を振り返り必要であれば計画を見直す	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
11	プレリハーサル① 講義室でのリハーサル、グループワーク	事前学修：当日の流れを想定して必要事項をまとめておく 事後学修：リハーサルで気づいた改善点を整理しておく	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
12	プレリハーサル② 講義室でのリハーサル、課題抽出と解消への取り組み	事前学修：プレリハーサル①での改善を踏まえた流れをまとめておく 事後学修：本番を想定した流れをまとめておく	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
13	最終リハーサル 模擬挙式	事前学修：挙式会場を想定した流れをまとめておく 事後学修：今後に向けての反省点、改善点をまとめておく	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
14	（1年：「ホテル・ブライダルサービス」（第14回）と合同）				
15	模擬挙式の振り返り	事前学修：自分の反省点と改善点の意見をまとめておく 事後学修：全体で出た意見を整理しておく	30	30	小里 千寿 小野寺 理恵
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ディスカッション、校外学修、グループワーク）				
教科書	なし（使用資料・ツールはその都度配布またはアナウンスする）				
参考文献	「ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード」公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 「ブライダル総論」一般財団法人日本ホテル教育センター 「ブライダルプロデュース」一般財団法人日本ホテル教育センター				
備考	状況により順番や進度、内容に変更が生じる場合や、遠隔授業で実施する場合がある。質問等については、次回以降の授業でフィードバックする。				

#### 実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

この授業では、現役のウェディングプランナーを招聘した授業を実施する。実務家による講義を通じて、ブライダル業界における実務的業務を学び、自ら企画立案を行い模擬挙式の体験することができる。  
（小野寺 理恵）ホテルや神社、ゲストハウスでのブライダル分野（プランナー・美容師、司会、アテンド等）で34年の実務経験がある。携わってきた業務の経験を活かし、具体的事例を交え説明する（ウェディングプランナー・ドレスコーディネーター・美容師国家資格を有する）。

<b>科目ナンバリング</b>
TB-4-SEM-08

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
	●	●			

科目名	観光研修Ⅱ				単位認定者	高野 宏輝 小里 千寿 吉野 千乃 佐藤 美輪 鎌田 貢治		評価の方法	試験 (レポート)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	通年	単位数	1 単位		受講態度	30 %
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間			
						授業回数	15 回			

**授業の概要**  
「観光研修Ⅱ」は学年ごと、あるいは学科全体で実施される学外研修、フィールドワーク、観光施設の見学・視察・体験などを通じた学修を行う。この科目は1年次の「観光研修Ⅰ」を引き継ぐものであり、1年次に学んだ観光事象についての認識をもとに、観光に関する学修をより多方面から捉え、その結果として獲得した知識や論理的思考力によって観光学修の意義を自分の言葉で説得的に表現する力を養う。

**到達目標**  
「観光研修Ⅰ」で学んだことを基に、自ら課題を発見し、解決する力を育成することを目的とする。観光現場を訪問するのみならず、関連分野の実践的に学ぶことにより専門的知識をさらに深化させ、卒業後に観光ビジネス等の分野で活躍できる実務能力を身につける。

**学修者への期待等**  
研修や体験は団体行動となることが多いため、1人1人が短大生としての自覚を持って行動してほしい。また、協調性と同時に積極性を持って研修に取り組む姿勢を期待する。

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	観光とバリアフリー：ゲストスピーカー (宇和野 康弘)	事前学修：バリアフリーの現状を調べる。 事後学修：講話の内容をまとめる。	30	30
2	サービス介助基礎研修：事前学修	事前学修：サービス介助士について調べる。 事後学修：疑問点をまとめる。	30	30
3	サービス介助基礎研修受講	事前学修：自分の希望進路とサービス介助士の関連について調べる。 事後学修：研修の内容をレポートにまとめる。	30	60
4				
5	観光業の実態を学ぶ：ゲストスピーカー (岡崎 裕介・佐口 謙太郎)	事前学修：講師への質問を考える。 事後学修：講話の内容をレポートにまとめる。	30	30
6	地域の観光施設視察：事前学修	事前学修：施設の概要を調べる。 事後学修：視察の計画を立てる。	30	30
7	地域の観光施設視察：現地調査	事前学修：調査時のポイントを確認する。 事後学修：研修の内容をレポートにまとめる。	30	60
8				
9	地域の観光施設視察：報告	事前学修：視察で得た疑問点をまとめる。 事後学修：報告の自己評価を行う。	30	30
10	学外研修：訪問地の事前調査 (1年：「観光研修Ⅰ」第5回と合同)	事前学修：訪問地の概要を調べる。 事後学修：研修のルートを考える。	30	30
11	学外研修：東北の観光地視察 (1年：「観光研修Ⅰ」第6回・第7回と合同)	事前学修：調査時のポイントを確認する。 事後学修：研修の内容をレポートにまとめる。	30	60
12				
13	学外研修：研修についてのプレゼンテーション準備	事前学修：視察時のメモをまとめる。 事後学修：プレゼンテーションの計画を立てる。	30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
14	学外研修：研修についてのプレゼンテーション実施	事前学修：プレゼンテーションの練習をする。 事後学修：プレゼンテーションの自己評価を行う。	30	30
15	観光研修Ⅱの振り返り	事前学修：1年間の学びを振り返る。 事後学修：学修内容をレポートにまとめる。	30	60
<b>アクティブ・ラーニング</b>	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（現地調査，報告，プレゼンテーション）			
<b>教科書</b>	使用しない。			
<b>参考文献</b>	参考資料は随時配布する。			
<b>備考</b>	状況により順番や進度，内容に変更が生じる場合，遠隔授業に変更して実施する場合がある。履修者の疑問点については，次回以降の授業時にフィードバックを行う。			

**実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）**

--